

**関越自動車道高架下活用施設建設懇談会
第二回 高齢者センター部会 会議要旨**

1 開催日時

平成25年7月4日(木) 午後2時～4時

2 開催場所

練馬区立豊玉高齢者センター 1階 生涯学習室2

3 出席者

(1) 委員(出席委員9名 敬称略)

榎本ムツコ、大島光昭、長井正夫、中村和子、鈴木洋子、西和彦、野崎延江、
面来光子、山崎裕康

(2) 区等

福祉部長、高齢社会対策課長、事務局(高齢社会対策課職員)
設計事務所(株)I N A新建築研究所)
豊玉高齢者センター所長

4 傍聴者

1名

5 議題

(1) 豊玉高齢者センター施設見学

(2) 懇談会

豊玉高齢者センター運営状況について
諸室のレイアウトについて
その他

(3) その他

6 配付資料

(1) 次第

(2) 資料1 高齢者センター部会委員名簿

(3) 資料2 練馬区立豊玉高齢者センター利用案内

(4) 資料3 練馬区立豊玉高齢者センターパンフレット

(5) 資料4 練馬区立高齢者センター平成24年度利用者アンケート集計

4-1 光が丘高齢者センター

4 - 2 関高齢者センター

4 - 3 豊玉高齢者センター

(6) 資料5 (仮称)大泉高齢者センター諸室レイアウト(素案)室別面積表

(7) 資料6 (仮称)大泉高齢者センター諸室レイアウト(素案)イメージ図

7 会議要旨

【配付資料確認】

【第1回会議欠席委員自己紹介】

議 題

(1) 豊玉高齢者センター施設見学

【豊玉高齢者センター施設内を見学】

(2) 懇談会

豊玉高齢者センター運営状況について

【資料2および資料3に基づき、豊玉高齢者センター(以下、「豊玉C」という。)所長から、平成25年6月末時点の豊玉C運営状況および施設概要について説明】

【資料4に基づき、事務局から、平成24年度利用者アンケート集計の主な項目、回答傾向について説明】

(委員)

節電のため、室内の照明は一括ではなく、部分ごとに消灯できるようにした方が良いと思います。

(豊玉C所長)

豊玉Cでは、室内照明は部分ごとの消灯できるようになっています。例えば、本日会議を行っている、生涯学習室2は、廊下側、中央、窓側と3箇所に分けて切れるようになっています。

(委員)

高齢者センターとはどのような施設か知らずに見学させていただきました。

地区区民館敬老室が大規模になったイメージと思いました。楽しみながら健康を保つための施設だと感じています。

(仮称)大泉高齢者センター(以下、「(仮)大泉C」という。)の室内天井高は、豊玉Cと同様の高さを確保できるのでしょうか。

(設計事務所)

生涯学習室2の天井高は、約3m程度です。(仮)大泉Cは平屋での設計を検討しているの
で、豊玉Cと同等の高さを確保可能と見込んでいます。具体的には、部屋の面積と天井高さ
のバランスを取る形で調整していきたいと思います。ただし、高架下の制約として、設計上
の限界があることはあらかじめご理解ください。

(委員)

豊玉Cのパソコンコーナーは、現状程度の広さでないと運営に支障があるのでしょうか。

(豊玉C所長)

教室開催時は、マンツーマンで講師が横に付いたり、全員が同時に見られる大きさのスク
リーンを設置する等の運用を図っています。これらを考慮すると、現状程度のスペースは必
要と思われます。

諸室のレイアウトについて

(福祉部長)

今回案件では、(仮)大泉C室内レイアウトについてのご意見をお願いいたします。

外構部分については高架下活用全体に関わる調整が必要なため、現時点では未確定要素が
多いところです。このため、次回以降の検討課題とさせていただきます。

今回の議題は、区民、利用者の視点から、必要な機能を形にするための議論をしていただ
けるようお願いいたします。

【資料5および資料6に基づき、事務局から、諸室レイアウト(素案)について説明】

(事務局)

資料5は、(仮)大泉Cと豊玉Cとの室別面積の比較表です。(仮)大泉Cは、豊玉Cと同
等規模の面積が確保できるように計画を進めております。用途別では、浴室については人気
があるため、豊玉Cよりも広めの設定を検討しています。

資料6は、棟ごとの機能の検討資料として、便宜上、西・中央・東棟の3つに分類してい
ます。諸室の配置案は、意見交換のための“たたき台”とお考えください。今後、様々なご
意見をいただくことで、より良いものにしたいと思います。

【西棟 浴室、リラックス・図書コーナー、娯楽室

中央棟 エントランス(出入口)、事務室、相談室、喫茶スペース、展示スペース

東棟 トレーニングルーム、パソコンコーナー、調理実習室、集会室(可動間仕切り
で分割可能)、給湯室(利用者用)】

(委員)

図面上、バス通りとの位置関係はどのようになるのですか。

(設計事務所)

図面左方向が大泉学園通りになります。

(委員)

高齢者センターでは一般に、利用者の入場ルートと安全、防犯管理の関係はどのように考えているのですか。

(豊玉C所長)

豊玉Cでは、エントランスから事務室まで距離があり、直接、2階へ上がる階段へ向かってしまう方もおられます。このため、入ってきた方には必ず声がけをしています。

また、事務室カウンターには必ず職員を配置し、防犯にも気を配っています。

(委員)

豊玉Cを参考に伺いますが、浴室と調理実習室の利用頻度はどの程度ですか。

(豊玉C所長)

浴室については、時間帯や施設によっても異なりますが、豊玉Cでは午後1～2時が最も混雑する時間帯です。

(高齢社会対策課長)

大泉Cは既存の3施設を参考に検討していますが、既存施設はいずれも浴室の人気は高いところです。このため、混雑緩和の工夫として、1人あたりの入浴時間を区切っている施設もあり、豊玉Cでは20分以内、光が丘高齢者センターでは30分以内と定めています。

(豊玉C所長)

調理実習室については、現在、料理サークルの登録が6団体あり、結構人気があります。また、豊玉C主催事業として料理教室等も開催していますが、毎回、申し込みが殺到する状況です。

(委員)

トイレの箇所数が多い印象があります。これを減らすことで、他室の面積を広めに取りれるのではないのでしょうか。また、浴室にはスロープはあるのでしょうか。

(豊玉C所長)

豊玉Cの浴室では、階段と手すりにて対応しています。スロープは斜度を抑えるため、一

定の距離が必要となり、多くの床面積を要するデメリットがあります。

（設計事務所）

大泉Cの想定規模で、浴室にスロープをつけるのは難しいと思われます。一方、利用者の利便性は十分に考える必要があります。対応策としては、浴槽の高さを床面からあまり上げず、掘り下げるタイプも考えられます。ただし、足腰の弱い方は一度腰掛けてから入る場合もあり、具体的な仕様については、工夫が必要です。

（委員）

中央棟のトイレは不要ではないでしょうか。他用途に変更してはどうでしょうか。

（設計事務所）

大泉Cは、高架の橋脚を挟み3つの棟に分かれています。このため、各トイレの面積は別としても、現状では各棟に最低1箇所は設けた方が良いのではないかと考えています。今後の検討事項とさせていただきます。

（委員）

トイレが狭いと高齢者は身動きが取りづらくなる場合があります。ゆったりとした設計を心がけてください。

つぎに、リラックスクーナーについて、お風呂上りに利用する想定で、足を伸ばしてくつろぎたい方もいると思われます。琉球畳などを設置するのはどうでしょうか。

（高齢社会対策課長）

くつろぎスペース自体は検討の必要があります。一方、既存施設の利用者の意見では、畳に座るのがきついという声がかかり挙がっています。これに対応するため、敬老館では、畳の部屋に和室用の椅子を配置している現状もあります。

（委員）

膝痛が無い方であれば、畳敷きのほうが安心感があると思います。

再び、トイレについて質問します。まず、中央棟のHWCと表記があるトイレの仕様はどのようなものになるのでしょうか。また、西棟の中央あたりにある5㎡ほどのトイレはどのような利用を想定しているのでしょうか。

（設計事務所）

中央棟のHWCは、車いす対応でオストメイト設備が設置されているトイレです。

西棟のご指摘のトイレは、浴室利用の方向けを想定しています。このため、トイレの入口は脱衣所内にあります。

（委員）

よくまとめられて、納まりの良い印象はあると思います。
西棟の娯楽室について、マージャンやカラオケの利用を想定していますか。

（設計事務所）

豊玉Cの例から考えると、想定する必要があると思います。

（委員）

それぞれの賑わいや雰囲気を考えると、西棟の娯楽室と、東棟のパソコンコーナーを入れ替えた方が良いと思います。

現状、娯楽室は独立した部屋を想定していますが、カラオケ等の大きな音が出る利用を前提とするならば、個人利用者のくつろぎの場であるリラックス・図書コーナーとは離れた方が望ましいと思います。

また、西棟は広場的な空間を想定しているのであれば、部屋に入ってしまう利用の仕方となる娯楽室を置くと、棟全体が寂しい空間になることが予想されます。

いっそ、各々独立して利用する想定の子屋は、思い切って東棟にまとめたほうが、施設管理上の利便性も良いと思います。

（設計事務所）

ただ今のご意見は、雰囲気作りに配慮した提案として十分に理解できるものです。レイアウト素案を作成する際、娯楽室のイメージとして、カラオケ等音が出るような使い方はあまり想定しておらず、マージャン、囲碁程度で、風呂上りに利用するようないラックスコーナーと一体的なイメージを持っていました。しかし、カラオケのような利用法を考えるのであれば、入れ替えたほうが良いと思います。

（委員）

娯楽室は音楽室にも使えるようにして、カラオケのみならず楽器演奏等も行える防音仕様にしていただけるよう要望します。

一方、東棟については、部屋が多く寂しい空間になってしまう可能性があります。これに対する工夫として、部屋の中の活動が出来るだけ見える形にできないでしょうか。

利用者の中には、見られたくないという考え方もあるかもしれません。しかし、集会室、調理実習室は外から見える形にしないと、非常に閉鎖的で息苦しい空間になると思われます。また、東棟は、施設開設後にも時代の変化に合わせて部屋の利用方法が様々に変化していくことが予想されます。このため、ある程度の収納スペースをあらかじめ確保しておくことが望ましいと考えます。

中央棟は、展示スペースの利用方法の想定が不明です。喫茶スペースと展示スペースは一体的に使えるようにしたほうが良いと思いますがいかがでしょうか。

(福祉部長)

展示スペースは、登録サークルの作品展示等を行う想定を考えています。

(豊玉C所長)

豊玉Cでは、陶芸の利用は無いが、編み物、絵画といった利用があります。

(委員)

陶芸等ができる、美術工芸室としての利用は考えられないでしょうか。もしくは、隣接のリサイクルセンターに工芸室が設置されるようなので、施設の一体的な利用等の運用を上手く考えていただきたいと思います。

(福祉部長)

他施設との調整を要する要望については、一旦持ち帰り、他の部会へお願いします。

(委員)

提案ですが、(仮)大泉Cでは、緑化を重視していただきたいと思います。ご存じのとおり、大泉は周囲に自然や農園等の緑が多い地域です。先ほど、工芸という提案をしましたが、例えば、グリーンアレンジメントや生花、コケ玉作り等、積極的に緑を取り入れる事業と結びつけてはどうでしょうか。「工芸」の範囲を広く捉えて企画していただきたいと思います。

(委員)

サークル利用ができる一方、個人で訪れ、ボートとできるような場所も作っていただけないでしょうか。

(豊玉C所長)

豊玉Cでは、サークル活動に参加される方以外にも、喫茶コーナーで友人と談話したり、お弁当を持ち寄って会食を楽しまれる方等、のんびりと過ごされている方もおられます。

(高齢社会対策課長)

ご指摘のとおり、高齢者センターは団体利用のためだけの施設ではありません。団体利用、個人利用双方の観点からご意見をいただければありがたいです。

(委員)

特に男性に多いのですが、誰でも定年を迎えたら肩書の無い一人の人間なのに、以前の地位や役職にこだわる方もおられるようです。区には、高齢者センターを利用する年齢になる前に、これらの事を知っていただくための啓発活動にも取り組んでほしいと思います。

(高齢社会対策課長)

統計的にも、男性の方が、高齢化したときに地域で孤立しやすい傾向があるようです。
ただ今のご意見は、運営面を考える際に、十分踏まえて行きたいと思います。

(福祉部長)

以上で、第二回高齢者センター部会を終了します。

8 次回開催予定

日時 平成25年10月23日(水)午後2時～午後4時

会場 練馬区立東大泉中央地域集会所